

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	<p>地域住民に対する公共交通利用体験会 玖珠町ふれあい福祉バスの2路線にて実施。 高齢者を対象に公共交通利用体験会を実施し、日ごろ利用しない公共交通に親しんでもらい利用する意識の醸成を図った。 11/17(火) 山浦線 8名 参加 12/10(木) 大野原線 8名 参加</p>	A	<p>参加者は日ごろからコミュニティバスに乗ったことがないの方が多数を占めていた。実際に乗車をしてもらい、バスの利用の仕方を体験した後は「今後はコミュニティバスを利用したい」との意見が多かったため、事業実施については効果があった。こういった参加者から、口伝えで地域の方に波及をしていけばさらに効果が出てくると感じた。 また事業実施時に行ったアンケート結果を踏まえ、今後の玖珠町の公共交通に関わる事業に反映させていくためには非常に有効だった。</p>	<p>周辺部から市街地に運行する「ふれあい福祉バス」と市街地を走る「まちなか循環バス」を時刻表に合わせ、乗り継ぎをしながら、目的地へ行く体験をしてもらい、バスの利便性について改めて認識してもらった。参加者からは、「バスが意外に乗りやすかった」、「今は自家用車を使っているが、もう数年もすればバスを利用する」等の意見をもらい大変好評であった。特に女性の高齢者からは、「公共交通がないと生活ができない」との声をいただいた。元気な時からバスに乗る意識をもってもらうため、地域や近隣の住民、仲の良い友達等々と乗ってもらう仕組みをつくり、楽しく乗車ができる取組を構築していきたい。事業実施から得た意見を今後の公共交通施策に反映させ、住民のニーズに対応した公共交通網を形成し、町の財政状況も踏まえながら、効果的、効率的に誰でも気軽に乗れる公共交通を今後目指していく。</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。ただし、参加者数に比して事業費が過大であること、事業の分析・評価が必ずしも十分ではないこと等が第三者評価委員会において有識者より指摘されており、継続的な施策の実施に当たっては不断の見直しが行われることが望まれます。 上記も鑑み、今後は参加者からのアンケート結果を踏まえ、利用者の買物行動など日々の移動状況を分析した上で、効果的、効率的に誰でも乗れる公共交通が構築されることを期待します。また、体験乗車などの利用促進については、利用者の公共交通への成熟度に応じた方法を考慮し、コストパフォーマンスも意識しながら、より効果的な施策の検討及び実施を期待します。</p>	

いちき串木野市地域公共交通会議	<p>【事業内容】 バスの乗り方教室及び公共交通に関する講話</p> <p>【結果概要】 羽島地区を対象に公共交通ワークショップを開催し、鹿児島大学井上特任教授の講演とグループワークを実施した。また、市民向けに公共交通セミナーを開催し、大分大学大井教授の講演を行った。それぞれ同日に鹿児島交通(株)の協力のもとバス乗り方教室を開催した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>今後も網計画に基づいて、バス乗り方教室、公共交通セミナーなどのモビリティマネジメント事業を行い、交通への関心を高め、利用者増の取り組み継続していく。また、公共交通ワークショップを行った羽島地区については、路線バスとコミュニティバスの利便性向上のために地区・利用者との話し合いを実施する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。特に、コロナ禍の中、様々な配慮の下で一定人数以上を対象に取組を実施できたことは評価できます。今後は、参加者のアンケート結果や利用者満足度調査結果を踏まえ、利用者の買物行動など日々の移動状況を分析した上で、より利便性の高いバス路線が編成されることを期待します。また、バスの乗り方教室などの利用促進については、利用者の公共交通への成熟度に応じた方法を考慮し、コストパフォーマンスも意識しながら、引き続きの施策の実施を期待します。</p>
	<p>【事業内容】 公共交通利用者への公共交通満足度の乗込み調査</p> <p>【結果概要】 地域間幹線系統の上川内・鹿児島線、いきいきバス羽島・荒川線、木原墓地線の3路線で、11月9日から28日まで、延べ1058人の乗降調査と、その中で聞き取りに応じていただいた方には聞き取り調査を行った。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>網計画に基づき、令和3年度に市街地循環路線の見直しを計画しており、それに向けた公共交通利用者への満足度調査を行った。今後今回の調査内容を分析し、利便性向上のための見直しを行っていく。</p>	